THE ROTARY CLUB OF KITAMI

Rotary

R. I. DISTRICT 2500 JAPAN

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス https://www.kitamirc.jp

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレッツォ

第 3524 回例会・2025 年 10 月 15 日

本日のプログラム

ゲスト卓話

「北見工大と共創する新しい大学発スタートアップの姿」

北見工業大学

名誉教授 鈴木聡一郎 様

第3523回例会（10月８日）の記録

ロータリーソング 我等の生業

ゲスト 米山奨学生 北見工業大学 テリゲル 様

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。本日のゲストをご紹介いたします。米山奨学生のテリゲルさんです。ご来訪ありがとうございます。本日は卓話をお願いさせていただいています。非常に楽しみにしておりますので、よろしくお願いします。

10月３日から５日まで、北見秋祭、オホーツクマルシェ2025が開催されました。ロータリー会員の皆様もブースに張り付いて非常に大変だったのではないかと思います。大勢のお客様のもと盛大に行われ、秋風がちょうど涼しく、非常に良いお祭りだったと思いました。

10月は米山月間ということで、米山奨学生の制度が出来た背景をご紹介させていただきます。米山梅吉さんが作られた米山奨学生制度ですが、ロータリアンの８万人が支援しております。米山事業は、日本初のロータリークラブの設立に貢献した実業家の米山梅吉の功績を記念して発足しました。1952年、東京ロータリークラブで始められたのが初ということです。やがて日本各地にロータリークラブの共同事業として広まり、1967年に文部科学省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。米山梅吉さんは幼少期に父親と死別し、母親が一人で育てられたという記録が残っております。16歳の時に静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳でアメリカに渡り、ベルモンド・アカデミー、ウエスレアン大学に入学し、８年間の留学生活を送りました。帰国後、友人の勧めで三井住友銀行に入社し、後に常務取締役に就任、その後三井信託株式会社を設立し、取締役社長に就任しました。そして、三井報恩会の理事長となり、ハンセン病、結核、癌の研究助成など多くの社会事業、医療事業に奉仕したと言われております。また、子供達の教育のために、奥様であるはる夫人と共に私財を投じて小学校を設立し、それが現在の青山学院初等科となっております。これは米山梅吉さんの願いでもあり、ご自身の生涯そのものであったと記録が残っています。では、なぜ留学生を支援するのか？それは、今後日本の生きる道は平和しかないという事をアジア、そして世界に理解してもらうために、１人でも多くの留学生を迎え、平和を求める日本人と出会い、信頼を築くことが日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないか、ということです。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから60年の月日が流れ、民間外交として世界の平和の種を蒔く米山事業の使命は、一貫して変わっていません。むしろ、今日の社会情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性が増しているのではないでしょうか。留学生の支援は未来に向けた平和の架け橋、尊い奉仕だと私も思っております。米山梅吉さんの強い思いを感じる事ができる、そしてロータリアンとして米山奨学事業にふさわしい国際奉仕であると改めて感じました。

10月４日、高橋幹事が実行委員長である北見マラソン大会に参加し、無事に５kmを完走しました。藤高校の応援がすごく良く、もし応援がなかったら寂しいマラソン大会だったかもしれません。皆さんも体を動かし健康に注意してお過ごしいただければと思います。本日の例会もお楽しみください。会長挨拶は以上とさせていただきます。

幹事報告 高橋幹事

1．10月16日18時半よりオホーツクビール園にて、新入会員オリエンテーションが行われます。
2．10月25日 国際ロータリー第2500地区 地区大会釧路大会が開催されます。登録されている方は、午前９時に集合していただく予定ですのでよろしくお願いします。詳しくは改めてご案内いたします。

ニコニコＢＯＸ

小林会長～10月４日、第１回北見マラソン大会に参加し、５km完走いたしました。北見藤高さんの応援が励みになりました。ありがとうございました。

高橋幹事～第１回北見マラソン大会が、10月４日無事開催することができました。協賛いただきました皆様、お手伝いいただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

プログラム

ゲスト卓話「伝統と最先端を繋ぐ：医師から研究者への挑戦」

米山奨学生 北見工業大学 テリゲル 様

皆さん、こんにちは。本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。ただいま紹介いただきました、米山奨学生のテリゲルと申します。現在、北見工業大学の博士後期課程で培養化学を勉強しています。このように多くの経験豊かな皆さんの前でお話しできてとても光栄です。緊張していますが、どうか温かく見守っていただけますと嬉しいです。本日の卓話は、私のルーツ、私の転機、私の挑戦、私の理想、この順でお話しいたします。

私の故郷は内モンゴルです。内モンゴルは中国の北部を東西に長く延びる高原で、モンゴル国の南に位置するモンゴル族の自治区です。首都はフフホト、面積は約120万㎢で、中国の面積の約12分の１です。人口は2024年時点で約2400万人、そのうちモンゴル民族は600万人で、世界で最も多くのモンゴル族が住む地域です。公用語は中国語とモンゴル語で、モンゴル伝統文字が使われています。モンゴル伝統文字は縦書き、左から右に読みます。次に、内モンゴルの景色を紹介します。東側は草原と山が多く、西側は砂漠地帯です。首都のフフホトはモンゴル語で「青い町」という意味で、山の麓にあり、とても綺麗な街です。私はここで17年間暮らしました。私の家は草原の中にあります。モンゴルといえば「ゲルに住んで馬に乗る遊牧民」というイメージが強いと思いますが、現在の内モンゴルの多くの人々はすでに定住しています。北海道の牧場のように柵に囲まれた土地で普通の家に住み、ビジネスとして牧場を経営しています。暮らし方や仕事内容は皆さんのイメージとは大きく変わってきています。

私のモンゴル語での名前は「テリゲル」と言い、「満月」という意味です。モンゴル人には姓はなく、現在の身分証明書にも姓はついていません。趣味はダンスで、学生時代には何度もダンスコンテストに出場しました。また、絵を描くことも好きで、特にスタジオジブリの絵を描くことが大好きです。以前はマラソン大会やアーチェリーに参加していました。風景写真を撮ることが好きで、時間があるときは小説や心理学の本を読むことも好きです。2006年に小学校を卒業するまでは地元の学校に通い、2009年に中学１年から首都の学校に移りました。2012年から2017年まで内モンゴル医科大学で学部課程を履修し、2020年に修士課程を修了しました。卒業後は病院で１年余り働き、2023年春に北見工業大学の博士課程に進学し、現在に至ります。私の小さい時からの夢は、医者になることでした。祖父がモンゴル医学の医者だったので家には医学関係の本や器具がたくさんあり、とても神秘的に感じていました。その影響で、大学と大学院ではモンゴル医学を専攻しました。モンゴル医学は７世紀に起源を持ち、自然と人間の調和に基づく伝統医療で、世界で初めて「飲食と健康の関係」を体系化しました。天然素材を用いた副作用の少ない薬物療法や灸療など、その高い効果と安全性が注目されています。在学中は病院での実習や研究室での実験に加え、多くの学会に参加し発表も行いました。また、大学院時代には新型動物モデル研究に関する特許も取得しました。病院勤務中には、テレビ番組に出演してモンゴル医学を宣伝したり、コロナ禍の際には最前線で防疫活動にも参加しました。病院で多くの患者さんと接する中で、伝統医学には多くの利点があると感じました。現代医学では根治が難しい慢性疾患に対して、伝統医学は症状を和らげる効果があります。しかし、症状だけを治療するだけでは不十分であり、病気の根本的なメカニズムを調べなければなりません。これが、伝統医学と現代医学を繋ぐ鍵となる橋です。なぜ効くのかを科学的な言葉で解き明かすため、私は日本留学を決意しました。日本は生命科学や漢方研究の分野で世界をリードしており、また北海道は環境汚染が少なく、高品質な植物サンプルの採集に最適です。北見工大出身の指導教授の推薦により、現在の研究室で学ぶことになりました。私の研究分野は「培養食品栄養化学」です。現在、北海道産の菩提樹蜂蜜とフェンネルを用いて免疫細胞に耐荷試験を行い、抗アレルギー、抗炎症効果を検証しています。この研究に基づき国内外の学会に多数参加し、関連分野の最先端動向を学び、学術交流を深めることが出来ました。

次は、ロータリーと私についてお話します。留学当初、私はロータリーを「経済的支援を提供し、留学の夢を実現させてくれる組織」という認識でした。しかし、例会や市民植樹祭、素敵な浴衣をいただいた納涼会、歓迎会、ポリオ撲滅運動、カウンセラー研究会などに参加し、会員の皆様や他の奨学生と交流を重ねるうちに考えが変わりました。ロータリーは単なる資金の提供者ではなく、時間を割いて私達と向き合い指導して下さるとともに、温かく見守ってくださる「先生」であり「友人」でもあるような存在だと気づきました。ロータリーのおかげで、様々な文化や考え方、行動の違いを理解し、尊重する力がつきました。また、自分本位の考え方から、社会貢献という視点をごく自然に持つことが出来るようになりました。立場の違う人とも対等に誠実に向き合い、関係を築く大切さを学ぶことができました。

最後に、私の理想についてお話します。これまでに学んできた実験技術を生かし、内モンゴルと北海道に生育し、特有の効能を持つ食薬同源の食材について、成分解析や作用メカニズムの解明を進めたいです。そして、免疫疾患やアレルギーなどの健康課題にアプローチする機能性食品・栄養補助食品・特別用途食品の開発にも取り組みたいと考えています。ロータリーのお力添えのもと、社会に進出する若者として、自分の視野にはまだまだ学びがあると強く感じています。これからもロータリークラブに携わり、絶えず学びながら視野を広げ、もっと社会に貢献できる人間になりたいと願っています。ロータリークラブの世界中に広がるネットワークは、私たち若者にとって知識を行動に移す最高の場だと思います。この大きなプラットフォームを通じて、より多くの社会貢献や自己実現の可能性に触れ、探求していきたいと思います。本日の卓話は以上です。最後までご清聴いただき、誠にありがとうございました。

会員の輪

四日市地下駐車場水害事故、計274台の被害、ベンツ他高級車が無残な姿に。お客様との話で北見駅も昔、車がぷかぷか浮いて大変だったよと聞きました。調べたら1975年９月台風６号、その約50年前の1922年にも同様被害。私の勤める３代目新店舗も50年毎の建替えとお伝えしましたが、数年ズレはあるが概ね一致。そろそろ注意。信じるか信じないかはあなた次第です。（中地　大介）

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出　席　率
計　算　式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	C+E+F/(A−B)+D×100
本日	10／8	63	5	32	2	5	−	37	61.667%

【次回10月22日】

新人卓話　「未　　定」　住友生命保険相互会社 支社長　藤　澤　慎　也 会員

2025～2026年度　北見R.C.活動方針

「クラブに革新を　笑顔で紡ぐ奉仕の輪」

～行動しようRotarianとして～

クラブ総会とは

標準ＲＣ定款による次年度のクラブ役員、理事等を選挙する為の年次総会は、クラブ細則の定めるところに従い毎年12月31日までに開催しなければなりません。会員総数の３分の１をもって定足数とします。